

若者等活動拠点施設(仮称)利活用検討会(令和元年度第2回)結果報告

日時 令和元年11月11日(月) 17時00分～18時15分

場所 高山市役所 302会議室

出席者 検討会メンバー8名、事務局(企画課)2名

内容

1. 開会あいさつ 田谷部長

- ・第1回は急遽所用のため欠席、それぞれ多用中に受任いただき感謝
- ・一昨年は企画課で事業に携わり、今年再び企画部に配属となった
- ・市民等に浸透していくには、検討会での議論が重要となるため、力添えをいただきたい

2. 協議事項

(1) 第1回検討会資料に対する質疑等について

(2) 運営方針等について

<質疑> メ：検討メンバー、事：事務局

■愛称募集について

メ：愛称募集は、前回資料では12月1日の広報たかやまに掲載予定とあったが、後にずれるのか

事：本日了承いただければ、予定どおり12月1日募集開始で考えている

メ：愛称募集方針については、第1回資料が全てということで良いか

事：互選により委員長を定めると加える程度と考えている

メ：広報掲載記事はどのようになるのか、施設の概要や目的、イメージを添えるのか

事：完成予想図ほか、簡単な内容で募集される例が多い。旧村田邸、村半などの施設の由来等の情報を添えるかは、それらの名称への誘導と受け取られても宜しくないため検討中

メ：基本的な情報がないと、愛称を考える人には分かりにくいと感じる

事：駅や支所などの例と異なり、どのような施設か分かりにくい部分があるため、配慮したいと思う

事：広報たかやま7月1日号で1面を使い、施設概要や村田邸(村半)の紹介も含めて事業の周知を行ったところ。愛称を考える方に施設のイメージ等がわかり易いよう、ホームページ掲載内容の充実も進めたい

メ：どのような使われ方をするかが見えてこない、愛称を考えることも難しいが、来年度当初から、愛称は決まっていた方が良いということか

事：途中から愛称が付くという施設も例がないため、開館当初からが望ましいと考える

メ：選考委員(利活用検討会構成員)のイメージにあったものが、愛称に選ばれるということか

事：単純に数が多いからといった決め方ではなく、施設にふさわしいものを選考委員会で議論いただきたいもの

メ：分かりやすいよう視覚に訴える資料を添えると良い

事：施設のことについて、出来るだけ分かるような形で募集をしたい

メ：広報はそれほど誌面を取れないため、詳しくはホームページで見てくださいといった募集になると考える

メ：市内の例では、よって館、かんかこかんといった、親しみ易く、簡単な愛称が良いと思う

■利用者の想定について

メ：若者が利用の中心となるのか

事：コンセプトはそのとおりだが、制限をかける訳ではない

メ：最近の資料では、若者すなわち高校生といった印象を受けるが、若者の定義等はあるのか

事:資料で高校生を多用しているところがあるかもしれない。若者の市外流出が大きな地域課題であるなか、この施設の利用等を通じて、高校生のうちに地元のことを知ること、帰ってきた若者がまちづくりに参画すること、大学生が高山を知り、高校生等とともに学ぶことなど、利用者の想定は広く捉えている

メ:Uターン者や高校卒業後地元に残った若者が、まちづくりについて話し合う場もなく、交流もしていないため、そのような場として使われると良い

メ:大学連携センターでは現在、高山信用金庫本店を会場に下町のまちづくりのワークショップを行っているが、高山のことをより深く知っていただけると考えるため、完成後はこの施設で実施することを想定している

■施設名称について

事:例えば、活動支援事務所として、「支援」が入った方が良いのではなど、ご意見はあるか

メ:「支援」が入った方が分かりやすいのでは

メ:利用者である若者には「支援」されるといった意識がないため、どうなのかとを感じる

メ:事務局案のままの方が、利用してもらいたい若者の主体性が見えるような印象がある。名称があまり長くなるよりは、短くコンパクトにまとめた方がよいと感じる

メ:勤労青少年ホームは正式名称か

事:その通りで、女性青少年会館も同じ施設内に位置付けられている

■開館日について

メ:定休日がないと、スタッフが疲れ切ってしまうことが心配

事:利用者からすると、定休日を使えない日があることが、利便性からどうかと考えたことによる

メ:臨時休館や臨時開館で対応すれば良いのでは。スタッフも疲弊するし、展示物等も展示しっぱなしではよくないのでは。人手不足でスタッフの確保も難しいなか、確保したスタッフに十分活躍いただくためには、しっかりと休める日を設ける必要があると思う

メ:スタッフの疲弊が心配なため、休館日は必要と感じる。臨時休館日が月に複数回あるよりは、定休日を定めた方が、利用者にも分かりやすい。開館準備、閉館後の片付けなども含めると3交代制が想定され、人員確保が大変と思われる

メ:まちの体験交流館では職員は19時に帰り、それ以降は、人が通過するだけといった整理でシルバー人材センターのスタッフを配置している。この施設で同様の方法は難しいため、利用者の活動に関わることのできるスタッフを夜間でも確保する必要がある

事:利用できる時間が18時などで終わっては施設の利用価値が下がるため、何とかスタッフを確保したい

メ:21時半までのスタッフ配置に拘るのか、フレキシブルに閉館時間を変えると対応の余地を残すのか。人の確保はどれも苦勞している

事:人の確保が難しいため、この施設は早く閉館しますとは言えない。スタッフ確保に努めるとしか言えない

メ:閉館時間が毎日異なるとは、利用者にとって支障となる

メ:利用者がない時間帯も少なくないと思われるため、常駐するスタッフは大変である

メ:進めてみてからでも良いと考える。スタッフが集まらなければ、それに合わせて開館日時も対応する必要がでてくる

メ:開館時間は2名体制で運営していくという考えか

事:そのようにしたいと考えており、コーディネーターの役割のスタッフは必須で、それを補助するスタッフの計2名が必要と考えている

メ:4名程の体制か

事:コーディネーターとなる中核的なスタッフについては、3名でローテーションすることを想定している

メ:決まった休館日はあった方が良くと思う

■開館時間について

メ:高校生の利用を考えると 21:30 までの開館は必要。午前中の開館は、そこまでの重要性は感じられず、夏休み期間は午前中も開館するなど、若者の時間軸に沿った運用があっても良いと感じた

メ:午前の会議はほとんどない

メ:所属する団体の貸出スペースは 18 時までのため、夜間に利用したいとの声も聴く。高校生が使うことを想定すると夜の開館は必要と感じる

会議やイベントでの使用に限れば、昼 12 時からでも良いかもしれないが、展示発表を市民が見られる利用などを考えると、午前がなくても良いというのはどうかと感じる

メ:開館後の状況を踏まえ、色々検討しても良いと考える

昨年度までの検討会で、参加された高校生が、図書館では静か過ぎるため、おしゃべりしながら勉強できる所が欲しいと言っていた

メ:話し合いながらの探求活動か、試験に向けた勉強をしたいのか不明だが、この施設内で、議論できる場所、静かに勉強できる場所などを使い分けができると良いと考える

メ:高山祭の祭礼行事のためこの施設を利用させてもらう場合、この開館時間にとらわれない臨時の対応をお願いしたい

事:考慮したい

■地元高校等との連携事業について

メ:おもてなしをする床の間に造花を飾ってはおかしい。本物の日本文化を若者に学び、体験してもらいたい。高校生の書を屏風にすることもどうか。文化祭的な発想のため、もっと深く考えてもらいたい

事:大事な場所では本来のものを伝えるほか、若者の努力や成果を見せられるような場所も設けさせてもらいたい

メ:一時的な展示会などは良いが、床の間に常時飾るようなものは避けてもらいたい

鳩峯車組ではこの建物を使って 70 年ぶりに「当番飾り」を復活させたが、年長者からは「組として恥ずかしいことはするな」と言われている。昔からのやり方を忠実に再現するため、古文書を調べたり、八幡神社の宮司にお供え物の方法を習ったり、結界の竹の向きや縛り方などの決まりを学ぶなど努力を重ね実施した。すばらしい日本の文化がすたれないように学び、守り伝える場としてもらいたい
工事の途中経過を高校生たちに見て、学んでもらいたい

事:施設で行うことの一つとして、日本文化を伝えていくことは非常に大切と捉えている

メ:11/7 の飛騨地区校長会では、話の頭出しをしてある

事:高山工業高校による家具製作以外、各校との話はこれからのため、ご意見を参考としたい

■その他

メ:周囲を含めて木造建築のため、火事の発生を恐れる。高校生が隠れてタバコを吸うようでは困る

メ:そのようなことは無いと思っている

メ:今は大学生でも 1 割程しか吸わない

メ:火気は使う施設か

事:コンロは電磁調理器だが、直火を使用する本物の竈を設ける。年に数回、竈炊きご飯を食べるイベント等があっても良いのではと考えている

3. その他、閉会あいさつ

いただいたご意見等を参考に、事務局で運営方針等をまとめさせていただく

第 3 回は後日、日程を決め案内するので参加されたい

以上